

## 会 議 録

会 議 の 名 称	令和 6 年度第 7 回川越市協働事業審査委員会
開 催 日 時	令和 7 年 3 月 2 6 日 (水) 午後 2 時 開会 ・ 午後 4 時 2 0 分 閉会
開 催 場 所	川越市役所本庁舎 第 1 委員会室
議 長 (会長) 氏 名	櫻井晶夫副委員長
出席者 (委員) 氏名 (人数)	櫻井晶夫副委員長 真下英二委員 佐藤保雄委員 栃原綾子委員 野本吉憲委員 藤井美登利委員 米原民子委員 柳内邦章委員 山下利一委員 (9名)
欠席者 (委員) 氏名 (人数)	遠藤克弥委員長 (1名)
事 務 局 職 員 職 氏 名	地域づくり推進課 課長 高野昌和 副主幹 川田雅美 主任 森裕美
傍 聴 者 人 数	なし
会 議 次 第	1 開会 2 副委員長あいさつ 3 議事 (1) 報告事項について (2) 継続事業の決定について (3) その他 4 閉会
配 付 資 料	別 紙・・・次第 資料 1・・・令和 6 年度実績報告書 (事業報告会未提出分) 資料 2・・・令和 7 年度協働推進事業の予算について 資料 3・・・令和 7 年提案型協働事業補助金 (継続事業) 一覧・申請書 資料 4・・・令和 7 年度審査委員会スケジュール (案) 資料 5・・・令和 6 年度 協働事業に関する職員研修アンケート集計結果 参考 1・・・がくどう igo サポート&キャラバン事業 (令和 7 年度) 参考 2・・・令和 7 年度川越市協働委託事業応募要項 参考 3・・・令和 7 年度川越市提案型協働事業補助金応募要項 (継続事業)

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
副委員長	<p>開 会 14時00分</p> <p><b>1 開 会</b></p> <p><b>2 副委員長あいさつ</b></p> <p>会議の成立</p> <p>市協働事業審査委員会条例第5条第2項</p> <p>会議の傍聴⇒不可</p> <p>理由：提案型協働事業の団体決定及び各事業審査において自由活発な意見交換を確保するため</p>
事務局	<p><b>3-1 報告事項について</b></p> <p>資料1の説明</p> <p>令和7年2月10日に実施した協働事業報告会の際に事業継続中等のため未提出だった実績報告書（提案型事業8件分）の提出があったことを報告。</p> <p>資料2の説明</p> <p>協働事業の予算については3月25日の川越市議会の議決により以下の通り決定したことを報告。</p> <p>(1) 協働委託事業</p> <p>子育て情報誌作成</p> <p>こども政策課 150,000円</p> <p>(2) 提案型協働事業補助金</p> <p>地域づくり推進課 1,064,000円</p> <p>(補助経費の1/2、上限20万円)</p> <p>※令和7年度に限り、当初予算は骨格予算で継続事業分のみ決定し、新規事業分については6月議会で補正予算として計上予定である。</p>

副委員長	<p>現時点での新規事業相談件数は7件。うち2件が所管課と調整を行っている。</p> <p>令和6年度実施事業についてはそれぞれが回数を重ねるごとにいいものになっている。</p> <p>「コミュニティラジオで楽しく防災」事業は防災グッズの紹介や子どもを対象としたイベントを開催していたが、スマホが使えない時、唯一頼りになるのはラジオであり、その特性を活かして、災害時の仮の実況放送をやってほしかった。そういった内容がなかったのが残念。災害時は行政・警察・消防が協力して対応すべきであるが、川越市ではまだ協力体制が出来ていない。</p>
委員	<p>報告会の際に未実施であった「リージョナルウィンドオーケストラ特別演奏会」に行ってきた。ほぼ満席で、ロビーには楽器屋メーカーが来ており、高校生や社会人の方など幅広い層の方が来ていた。提案型協働事業で実績を作ることができ、よかった。ウェスタ川越のような大きなホールで演奏する機会を望む人（社会人になって演奏をやめた方など）のニーズがあり、そこを拾い上げている印象。</p>
副委員長	<p>音楽をやってきた人間は聞いてもらいたい気持ちがあり、また、聞く方も気持ちよく聞くことができ、そういった関係性が良い。これからもっと発展していってもらいたい事業である。</p>
委員	<p>実際に演奏会に行ったが、ロビーでの試し吹きは来場者を音楽に親しませる機会を提供していて非常によかった。代表者の人脈を活かして様々な団体を巻き込んで事業を行っており、期待が持てる。</p>
委員	<p>「コミュニティラジオで楽しく防災」事業はラジオ放送局のため、それを活かした、FM放送ならではの取組みにウェイトを割いて行政とコミュニケーションを取りながら実施してほしかった。自治会との繋がりも持てるとよいと思う。</p>
委員	<p>防災危機管理室と団体がこの提案型協働事業をきっかけに顔</p>

委員	<p>が見える関係になったので、今後市がこの関係を活用するべきだと思う。防災協定も結んでいるので、それを川越の資産のひとつとして活用する（市の防災フェアで声掛けするなど）のは市の方である。協定を市民に見える形に持って行ってほしい。</p> <p>食生活改善推進協議会では災害が起きた時の食事の作り方などの情報提供をしている。</p>
委員 事務局	<p>新規事業分については毎年このような流れなのか。</p> <p>今回に限った措置となる。2月に市長が代わり、令和7年度の当初予算は市民生活に影響のあるものを骨格予算として、主につけさせていただいた。補正予算は6月にある市議会で計上し市全体の中で諮っていく。金額については応募の状況等も踏まえ、財政課の査定を経て要求する形になる。新規事業の交付決定は予算の成立後になる。</p>
副委員長	<p>令和6年度の実施事業は非常に内容が多彩でよかった。新規事業の提案も期待している。</p>
事務局	<p><b>3-2 継続事業の決定について</b></p> <p>令和7年度継続事業として継続可能な7事業（協働事業報告会における評価がAまたはBであった事業で事業実施が2年未満の事業）のうち5件が継続事業に申請した。</p> <p>各事業についてスケジュール、予算書等の説明。</p> <p>(1)「仙波の田んぼで季節を感じ、食を味わう」農業振興事業（3回目）</p> <p>(2)川越にプレーパークをつくろう事業（2回目）</p> <p>(3)仲町地域交流会活動事業（3回目）</p> <p>(4)生きる力と平和の大切さについて共に考える授業（2回目）</p> <p>(5)川越リージョナルウィンドオーケストラ特別演奏会（2回目）</p> <p>（川越が生んだ漫画家・花村えい子の推しガール総選挙とほしおさなえ作品の世界をめぐるスタンプラリーの2事業は事業</p>

	<p>内容変更のため、新規事業として申請する意向)</p> <p>令和7年度の提案型協働事業補助金(継続事業分)の予算が1,064,000円、継続事業の補助申請額の合計が748,000円と予算内であることから事務局としては5件採択と考えている。</p> <p>来年度は今年度よりも少し踏み込んだ内容での実施になっている。</p> <p>「仙波の田んぼで季節を感じ、食を味わう」農業振興事業」は年々発展していて3年目が楽しみである。</p> <p>「仲町地域交流会活動事業」はただ自治会に入ってもらっただけでなく、町内の山車の説明もあり、川越の伝統も守り継続できると感じられた。</p> <p>「川越リージョナルウィンドオーケストラ特別演奏会」はもっと市民に音楽文化が浸透できるとよい。川越もウェスタを中心とした新しい文化を考えていくべき。</p> <p>「川越にプレーパークをつくろう事業」は仙波の田んぼの事業などとも結びつくと思う。</p> <p>「生きる力と平和の大切さについて共に考える授業」では平和であるためにはどうしたらいいのかを考えさせられる。また子どもたちに語りかけることによっていじめなども減っていくのではないかな。</p>
副委員長	
委員	<p>予算書に食糧費が含まれるものがある。自分が食べる分を計上するのはどうかと思う。無償で配るものなどについては良いと思うが、線引きしてほしい。</p>
委員 事務局	<p>県の食糧費は講師の昼食等以外は認めていない。</p> <p>令和7年度に補助金ガイドラインに基づいて補助金要綱を整備した。申請の段階で事務局からも説明して申請してもらうように考えている。</p>
委員	<p>国の会計検査院の考え方では補助事業を遂行する上で必要</p>

事務局	<p>であれば認めてよいとなっている。交流会のための食糧費が事業のために絶対必要だと言われたときにどうするのか。いずれにしても食糧費を計上する際に十分な説明が必要なことになりはしない。何が該当するのか明示していく必要がある。</p> <p>市でもガイドラインがあるのでそれに沿った形になる。一律で食糧費を認めないということではなく、事業内容をしっかりヒアリングをした上で可否を決定していく。</p>
委員	<p>事業費の1/2を補助しているが、今年度の川越リージョナルウィンドオーケストラのように総事業費が多額の場合、幅広く利用できるようなやり方を将来考えないといけないと思う。3年経って補助がなくなったときの市全体としての援助の仕方を考える必要があると思う。</p>
副委員長	<p>3年間の1年目は立ち上げを手伝い、2年目は運用して、3年目は独り立ちできるように目指している。今回の継続事業は前年よりも充実していっているので良いと思う。補助金交付期間が終了した後も団体の面倒を見たり、他の団体とのつながりを持ってもっと事業を熟成させるなど、所管課もそういうことを考えながら事業を進めていってほしい。</p>
副委員長 委員	<p>5件の事業は継続するという事でよろしいか。 (異議なし)</p>
事務局	<p><b>3-3 その他</b></p> <p>○令和7年度のスケジュール(案)について以下説明。</p> <p>第1回 4月16日(水) 午後2時 委嘱式 川越市役所4階 4A会議室</p> <p>第2回 5月12日(月) 午後 委託・継続 プレゼンテーション・ヒアリング 川越市役所7階 7AB会議室</p> <p>第3回 6月上旬から中旬 新規事業プレゼンテーション</p> <p>第4回 6月中旬から下旬 新規事業採択審査</p>

	<p>第 5 回 1 月中旬から下旬</p> <p>第 6 回 2 月 9 日 ( 月 ) 午前・午後 協働事業報告会 ウェスタ川越 多目的ホール A・B・C</p> <p>第 7 回 3 月末 令和 8 年度継続事業早期審査</p>
<p>事務局 委員 事務局</p>	<p>○職員研修アンケートの集計結果について</p> <p>集計結果について説明</p> <p>参加者は各課にまんべんなく依頼したのか。</p> <p>部単位で依頼した形。</p>
<p>副委員長</p>	<p>2 月に地域会議の件で所沢市に視察に行った。所沢では行政が一生懸命取り組んでいる節が見えた ( 職員が自治会の夏祭りの手伝いに行くなど)。行政も積極的にやっていく必要がある。人が少なくなり、税収が減る中で行政と市民が協働しないと物事が成り立たなくなる。</p> <p>所沢では横断的に担当者会議を行っている。事業をやるときにひとつの課で収まるわけがない、どこかと連携している。そういう時にこうした会議をやっていると協働しやすい。</p>
<p>委員</p>	<p>協働事業の在り方として各市民から所管課に対して提案して、所管課が事務局に提案するのがあるべき姿だと思う。いくら事務局が所管課をリードしても成り立たない。</p>
<p>委員</p>	<p>行政からも市民との協働を求める声が事務局にあるといい。</p>
<p>委員</p>	<p>○各委員からのあいさつ</p>
<p>副委員長</p>	<p><b>4 閉 会</b></p> <p>副委員長あいさつ</p>
	<p>閉会 16 時 20 分</p>